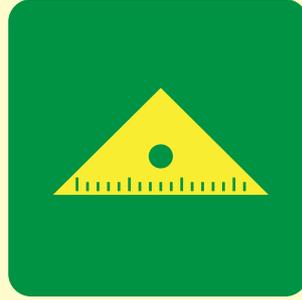
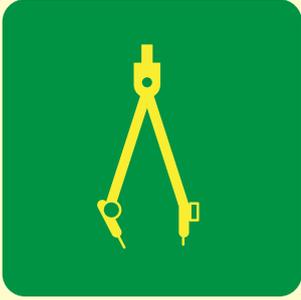


「確かな学力」を子どもたちに

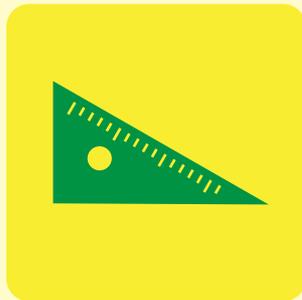
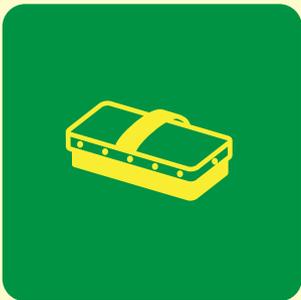
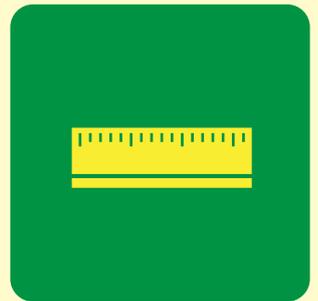
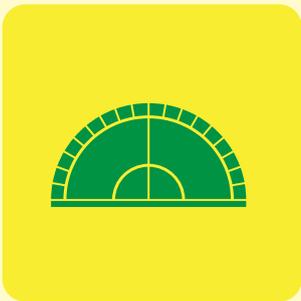


問題集



筑波大学附属小学校・算数研究部／著

アイテム算数のご案内



企画



特定非営利活動法人

次世代教育推進機構  
for Education of Next Generation

「子どもたちの1人ひとりに  
『できた』『わかった!』を」

iitem

For next generation

子どもたち1人ひとりが「確かな学力」を持てるように。その実現に向かって、「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む新たな教材を教育現場へ供給しようと、筑波大学附属小学校の先生方とタッグを組み、「アイテム」制作という協働プロジェクトをスタートさせました。サード・バージョンとなる新版「アイテム」でも、この企画の根幹は変わりません。今、日本は様々な分野で課題が山積みになっています。この時代を乗り切っていく力を子どもたちに与えていくのが、私たち大人の使命であることは言うまでもありません。

教えられるままに教室の椅子に座っているのではなく、人の意見をよく聞き、自らよく考え、積極的に意見を伝える。そんな意欲態度の向上も、この1冊の問題集に託しました。「アイテム」の単元構成は、どの子どもにも学力向上の目標設定が可能となるように4つのステップを設けています。最後のステップ「チャレンジしよう」では、教科書に出てこないような頭をひねる問題も掲載されています。その中の1問を、クラスのみならず1時間、2時間と時間を掛けて解いていく。そのプロセスも経験として子どもたちに与えていただければと思います。新たな時代を切り開く叡智を築く礎として、「アイテム」が少しでも役に立てばと思います。

NPO 次世代教育推進機構



筑波大学附属小学校  
算数研究部  
と

iitem

次 期学習指導要領の動向が気になり始めている昨今、巷ではアクティブラーニングという言葉が耳にすることが多くなりました。日本の教育界はいつの時代もキーワードに翻弄される傾向が強いのですが、すでにアクティブラーニングの考えに基づいた算数の授業とはどんなものか探ろうという動きが見えます。しかし、これまでの算数授業も子どもたちが協働的に学ぶ授業を目指して行ってきたはず。大事なことは、学び手である子どもが意欲的に取り組み、確かな知識や技能を身に付け、そして何よりも算数が好きになるということを目的とすることです。そのような理念を我々筑波大学附属小学校算数部が問題集という形で具体化したものが、この「アイテム」です。

「アイテム」は、「i\*tem」と書きます。「i」は自分、つまり子どもたち自身を指します。「tem」はtsukuba educational methodの頭文字をとったものです。英語のitemには、項目や品物という意味があり、子どもたちにお馴染みのRPGなどでは、ゲットした様々な道具というイメージもあります。つまり「使える道具」としてのアイテムです。これは、身に付けた知識や技能を役立つものにしたという願いにもつながります。また、こんな時代だからこそ、もう一度算数が大好きな子どもを増やしたい。そんな想いもこめてみました。

今回で「アイテム」もサード・バージョンとなります。現在の学校現場が抱える真摯な悩みを解消するために、筑波の算数研究部6名が叡智を絞って作り直して皆様にお届けします。明日の算数の時間が子どもの笑顔で埋め尽くされることに、この「アイテム」が役立つことを願ってやみません。

筑波大学附属小学校 算数研究部

田中博史／山本良和

夏坂哲志／盛山隆雄

中田寿幸／大野 桂

## 「アイテム」は、こんな算数問題集です。 学力向上につながる8つのポイント

単元構成  
p3,p4

### 各単元を4つのステップで構成

基礎・基本から活用、探究まで対応。児童1人ひとりの習熟状況に併せて活用できます。  
※導入には、単元の解説を。振り返り学習にも活用できます。

計算ドリル  
p3

### スパイラルに活用できる計算ドリル

2年から6年までの単元学習の下に計算ドリル(各学年、約1,000題)のコーナーを設けました。  
※1年は、思考力を鍛える問題を中心に掲載しています。

解答・解説  
p4

### 解答と解説

1年、2年では、丸つけがしやすいように縮刷版で対応。3年～6年では、解説を充実させました。

トピックス  
p5

### 算数研究部の授業を追体験

「授業でわかる!」「スペシャルアイテム」では、活用型授業や、算数的活動のヒントを提示。

評価テスト  
p5

### 評価テストも充実

ペーパーテストの代用になるように、チェックテストを掲載。巻末には活用力を試せるテストも。  
※「活用問題(テスト)」は、3年～6年に掲載。

領域別  
p7,p8

### 領域別の単元構成(3年～6年)

単元どうしのつながりを考慮して、領域ごとにまとめて構成しました。

著者  
p9

### 筑波大学附属小学校・算数研究部

算数研究部総勢6名が、1問1問を丁寧に作問しました。「活用」、「探究」を問題集というかたちで具体的に提示しています。

支援ツール  
裏表紙

### i\*tem プラス(アイテム連動プリント)

採択校への支援ツールとして、本機構HPから各単元4種類のプリントが使えるようにしています。  
※「学力テスト」も5回分ご用意しております。

活用事例  
p10

アイテムは、様々な学習場面で活用できます。その代表的な事例を、頂戴したレポート等からお伝えします。

アイテムには、算数の教科学習に必要な要素がたくさん盛り込まれています。4ステップの単元と計算ドリルで、多様化する学習場面に対応できます。 ※詳しくは、p10「活用校の声」をご参照ください。

## 単元構成

アイテムでは、各単元を4つのステップで構成しています。基礎・基本の問題から、活用・探究問題まで掲載。習熟状況の異なる児童へ柔軟に対応できるようになっています。

### STEP01 導入「テーマ」+「練習しよう」

「テーマ」では、この単元で学習することが、担当執筆者によって丁寧な解説でまとめてあります。「練習しよう」は、「テーマ」との類似の基本問題で構成されています。 ▶ 活用校の声①、⑧

### STEP02 習得「たしかなものにしよう」

導入で学習したことの確認と定着をねらいとしたページです。つまづいたら、「テーマ」(解説)に立ち返ることができます。 ▶ 活用校の声①、④、⑧

導入

12 面積
22
大きな面積

**テーマ** 大きな面積①

次の問いに答えなさい。

① たてが3m、横が4mの長方形の形の花だんの面積は何㎡ですか。

② たてが2km、横が3kmの長方形の形の町の面積は何km<sup>2</sup>ですか。

**答え方** ① 1辺が1mの正方形の面積を1平方メートルといい、1㎡と書く。  
3×4=12で、1㎡の正方形が12こだから、12㎡である。

② 1辺が1kmの正方形の面積を1平方キロメートルといい、1km<sup>2</sup>と書く。  
2×3=6で、1km<sup>2</sup>の正方形が6こだから、6km<sup>2</sup>である。

**答え** ① 12㎡ ② 6km<sup>2</sup>

**練習しよう** [1] 次の問いに答えなさい。

① たてが3m、横が5mの長方形の形の畑の面積は何㎡ですか。

② 1辺が4kmの正方形の形の町の面積は何km<sup>2</sup>ですか。

**テーマ** 大きな面積②

次の□にあてはまる数を書きなさい。

① 5a=□㎡ ② 6ha=□㎡

**答え方** アール(a)、ヘクタール(ha)も面積のたいてい、1辺が10mの正方形の面積が1a、1辺が100mの正方形の面積が1ha。

① 1a=100㎡だから、5a=500㎡

② 1ha=10000㎡だから、6ha=60000㎡

**答え** ① 500 ② 60000

**練習しよう** [2] 次の□にあてはまる数を書きなさい。

① 4a=□㎡ ② 8ha=□㎡ ③ 3ha=□a

**計算ドリル** [3] 2けたでわるわり算①の学習後

① 350÷50	② 430÷60
③ 190÷20	④ 510÷70
⑤ 78÷13	⑥ 79÷35
⑦ 71÷27	⑧ 99÷46
⑨ 68÷17	⑩ 90÷38

習得

たしかなものにしよう
習得

**1** 次の問いに答えなさい。

① 1㎡は何cm<sup>2</sup>ですか。

② 1km<sup>2</sup>は何m<sup>2</sup>ですか。

**2** たてが1m50cm、横が2mの長方形があります。

① この長方形の面積は何cm<sup>2</sup>ですか。

② ①の面積は何m<sup>2</sup>ですか。

**3** たてが500m、横が2kmの長方形の形の公園があります。この公園の面積は何km<sup>2</sup>ですか。

**4** たかしさんの家の畑は、たてが20m、横が15mの長方形の形をしています。

① たかしさんの家の畑の面積は何㎡ですか。

② ①の面積は何aですか。

**5** はるみさんの家の近くの公園は、たてが400m、横が250mの長方形の形をしています。

① この公園の面積は何㎡ですか。

② ①の面積は何haですか。

**計算ドリル** [4] 2けたでわるわり算②の学習後

① 361÷19	② 612÷34
③ 570÷23	④ 673÷18
⑤ 975÷65	⑥ 163÷18
⑦ 196÷28	⑧ 424÷53
⑨ 317÷87	⑩ 456÷76

必修ページとして

## 計算ドリル

各学年、約1,000題の計算ドリルを掲載。別途、ドリルを用意する必要はありません。前学年を含めた既習の計算問題を掲載し、スパイラルな計算練習ができる構成にしました。

▶ 活用校の声①、③、⑤、⑥、⑦、⑨

**計算ドリル** [3] 2けたでわるわり算①の学習後

① 350÷50	② 430÷60
③ 190÷20	④ 510÷70
⑤ 78÷13	⑥ 79÷35
⑦ 71÷27	⑧ 99÷46
⑨ 68÷17	⑩ 90÷38

### 計算ドリル成績シート

ページ	内容	1回	2回
4	①かけ算	✓10問	✓10問
5	②かけ算	✓10問	✓10問
6	③かけ算	✓12問	✓12問
7	④かけ算	✓12問	✓12問
8	⑤たし算	✓10問	✓10問
9	⑥たし算	✓10問	✓10問
10	⑦たし算	✓16問	✓16問

巻末には「計算ドリル 成績シート」を付けました。計算ドリルの正答数を2回分まで記録できます。

■2年生…121回、926題 ■3年生…113回、1,038題 ■4年生…115回、1,033題  
 ■5年生…115回、988題 ■6年生…123回、976題 ※1年生は、逆思考型ドリルを多数掲載



### STEP03 活用「活用する力をつけよう」

「たしかなものにしよう」で学習したことを活かし解いていく問題です。基礎・基本問題を少しだけ膨らませた問題は、教科書の知識でも十分に挑戦可能です。▶ 活用校の声④、⑤、⑫

### STEP04 探究「チャレンジしよう」

このコーナーでは、熟考することや応用力を身につけることをねらいとしています。STEP3と同様に、考える力を育てるのに有効なコーナーです。▶ 活用校の声③、④、⑫

活用

**活用**

1 次の形の面積は何㎡ですか。

①

②

2 たてが30m、横が50mの長方形の形の土地があります。この土地に、右の図のようなはばが2mの道を、たてと横につけました。

① 道の面積は何㎡ですか。

② 道をのぞいた土地の面積は何㎡ですか。

3 次の面積を、( )の中のとんで表しなさい。

① 4㎡ (cm<sup>2</sup>)      ② 600000cm<sup>2</sup> (m<sup>2</sup>)

③ 900㎡ (a)      ④ 8000000㎡ (ha)

4 次の面積は、cm<sup>2</sup>、m<sup>2</sup>、km<sup>2</sup>のうちのとんで表すとよいですか。

① 学級園の面積      ② ノートの面積

③ 市の面積      ④ テニスコートの面積

計算ドリル 1「4 2けたでわるわり算(2)」の学習後

① 993÷43   ② 464÷16   ③ 942÷37   ④ 590÷13

⑤ 981÷74   ⑥ 693÷57   ⑦ 242÷25   ⑧ 595÷85

⑨ 387÷72   ⑩ 423÷47   ⑪ 602÷93   ⑫ 693÷83

⑬ 984÷82   ⑭ 735÷28   ⑮ 582÷61

94

探究

**探究**

Challenge チャレンジしよう 探究

1 次の形の面積は何㎡ですか。

①

②

2 次の図で、かげをつけた部分の面積は何㎡ですか。また、その面積は何aですか。

①

②

3 右の図で、②の長方形の面積は、かげをつけた長方形の面積のちょうど半分です。□にあてはまる数をもとめなさい。

①

4 たてが320m、横が500mの長方形の形をした山林の面積は何haですか。

5 チャレンジプラス 右の図のように、長方形の形をした池のまわりに、はばが2mの道をつけました。道の面積が1aのとき、池の面積は何㎡ですか。

①

計算ドリル 1「4 2けたでわるわり算(2)」の学習後

① 258÷43   ② 322÷14   ③ 307÷37   ④ 598÷23

⑤ 482÷91   ⑥ 425÷85   ⑦ 581÷32   ⑧ 307÷73

⑨ 547÷28   ⑩ 414÷69   ⑪ 832÷52   ⑫ 965÷78

⑬ 409÷56   ⑭ 897÷39   ⑮ 920÷67   ⑯ 732÷88

95

挑戦ページとして

アイテム4年「大きな面積」より

## 解答と解説

低学年は、解答・解説をアイテム縮刷版に刷り込みました。中・高学年は、該当のページを探しやすく、また、解説が読みやすいようにレイアウトしました。

▶ 活用校の声①、②、⑪

たしかなものにしよう

1 次の形の面積を求めなさい。

①

②

3 次の形の面積を求めなさい。

①

②

4 次の形の面積を求めなさい。

①

②

③ 15+56 72   ④ 54+9 63   ⑤ 80-28 58   ⑥ 92+45 47

⑦ 53+7 6   ⑧ 90-11 79   ⑨ 15+48 63

⑩ 61+19 80   ⑪ 74-16 58   ⑫ 87-78 9

大きな面積

1 次の形の面積は何㎡ですか。

①

②

2 たてが30m、横が50mの長方形の形の土地があります。この土地に、右の図のようなはばが2mの道を、たてと横につけました。

① 道の面積は何㎡ですか。

② 道をのぞいた土地の面積は何㎡ですか。

3 次の面積を、( )の中のとんで表しなさい。

① 4㎡ (cm<sup>2</sup>)      ② 600000cm<sup>2</sup> (m<sup>2</sup>)

③ 900㎡ (a)      ④ 8000000㎡ (ha)

4 次の面積は、cm<sup>2</sup>、m<sup>2</sup>、km<sup>2</sup>のうちのとんで表すとよいですか。

① 学級園の面積      ② ノートの面積

③ 市の面積      ④ テニスコートの面積

解説

1 ① 1m60cm=160cm、5m=500cm  
160×500=80000、80000cm<sup>2</sup>=8m<sup>2</sup>

② 150cm+2.5m=400cm、4m-120cm=280cm  
400×120+150×280=90000、90000cm<sup>2</sup>=9m<sup>2</sup>

2 ① 20×40-10×(40-10-20)=700(m<sup>2</sup>)→7a

② 40×60-10×20=2200(m<sup>2</sup>)→22a

3 かげをつけた長方形の面積は、18×26×2=936(cm<sup>2</sup>)  
かげをつけた長方形の横の長さは、936÷24=39(cm)  
□にあてはまる数は、39-26=13

4 320×500=160000(m<sup>2</sup>)→16ha  
12×2×2=48(m<sup>2</sup>)

右の図で、かげをつけた部分の長方形の横の長さは、  
(100-48)÷2÷2=13(m)

池と道を含めた長方形の横の長さは、13+2×2=17(m)

池の面積は、12×17-100=104(m<sup>2</sup>)  
(別解)池の面積は、(12-2×2)×13=104(m<sup>2</sup>)

解答に至るまでのプロセスを丁寧に解説しています。

## 2つのトピックス

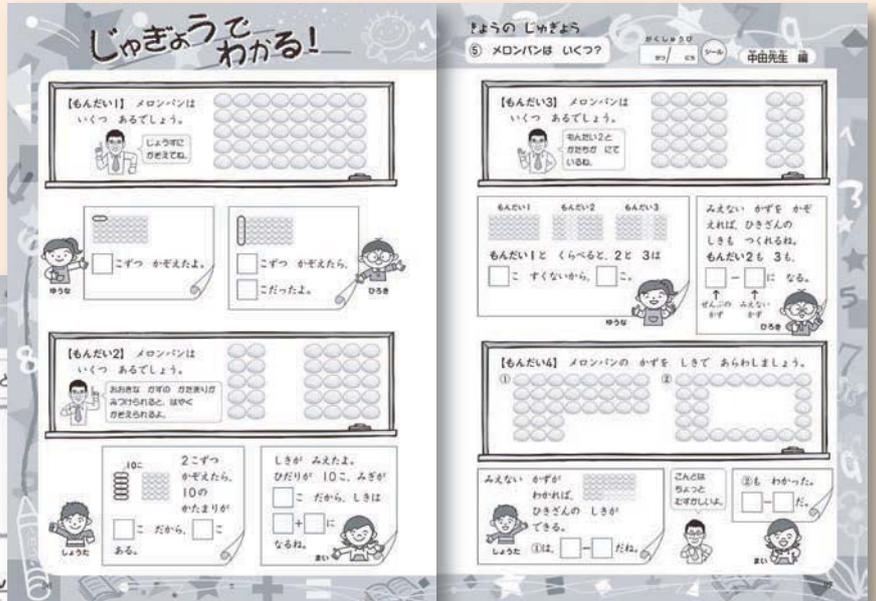
筑波大学附属小学校・算数部6名の授業を、「授業でわかる!」、「スペシャルアイテム」という2つのトピックスで紹介。子どもたちの表現力や思考力を涵養するつくりとなっています。

### 「授業でわかる!」

#### ▶ 活用校の声②

筑波大学附属小学校・算数部のおもしろ授業を紙面で再現。算数部6名の授業が追体験できるような構成となっています。授業構想を立てる際のヒントとして使えます。

解答にいたるまでのプロセスを重視する、オープンエンド型授業を展開する際にも有効活用できます。



アイテム1年授業でわかる!「メロンパンはいくつ?」より



アイテム4年スペシャルアイテム「4つの4より」より

### 「スペシャルアイテム」

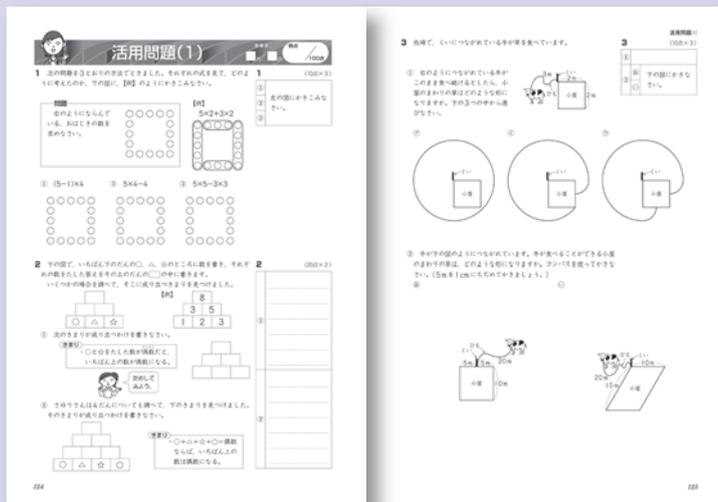
子どもたちの「算数」の世界を広げられるように、日常生活の中で身近に「算数」を感じられるように、と考えて作られたコーナーです。

## 活用問題と評価テスト

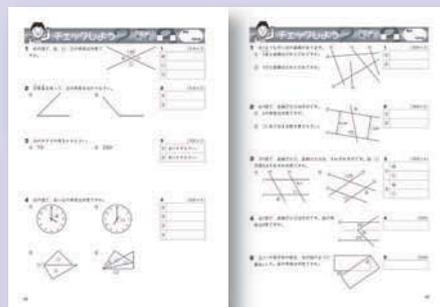
3年～6年の巻末には、「活用問題」、4領域毎の理解度をはかる「チェックテスト」、各学年には、1年間の理解度をチェックできる「学年のまとめ」を掲載しています。

### 「活用問題」

既習内容のうち、どの知識や能力を、あるいはどんな考え方を用いればよいかを考えさせる問題です。諦めずに解決まで取り組もうとする姿勢、すなわち「活用しようとする態度」の育成も目指しています。



アイテム5年「活用問題」(1)より



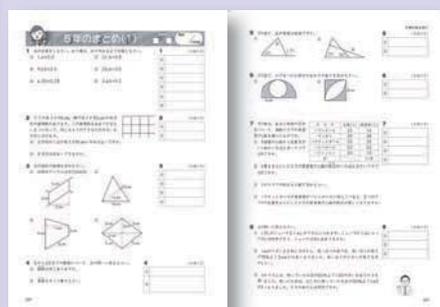
アイテム4年「チェックしよう」図形編①より

### チェックテスト

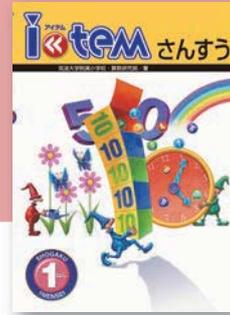
領域ごとの学習状況に対する評価問題を複数ページ用意しています。単元の途中からも使え、そのままテストとして活用できるように、見開きで100満点となるように構成しました。

### 学年のまとめ

単元学習の最後に、まとめのテストを複数ページ用意しました。学年末テストや、前学年の学習状況の診断テストとして、そのまま活用することができます。



アイテム5年「学年のまとめ」(1)より



1年 120頁 2年 128頁  
各 970円 (税込)



低学年は、イラストを随所に取り入れ、児童の好奇心を促すような紙面構成にしています。かけ算の単元では、単調な計算練習にとどまらず、様々な出題形式の問題を載せました。1、2年生のうちから、問題の意味を読み解く態度を育てます。

## 監修者からの声



「できた!」という達成感を 1年監修 中田 寿幸

イラストや図を多く取り入れ、視覚で理解していくことを得意としている1年生に、より理解しやすい構成にしました。1つ1つの問題を解きながら、そして、「おもしろい!」「できた!」と達成感を味わいながら、「アイテム」の問題に取り組んでくれたらと思います。



場面にあった式表現を 2年監修 夏坂 哲史

2年生では、計算技能の習得はもちろん、かけ算の意味などについてもしっかりと押さえ、場面にあった式表現ができるようにしていくことが大切です。3年生以降の学習の大切な基礎となる2年生では、「アイテム」の様々な問題を通して、楽しく身につけていくことを願っています。

## 1年 目次 / CONTENTS

単元	内容
	アイテムをはじめよう!
1	10までのかず
2	いくつといくつ
3	なんばんめ
トピック	じゆぎょうでわかる! ①
4	たしざん (1)
5	ひきざん (1)
トピック	じゆぎょうでわかる! ②
6	かたち
7	10よりおおきいかず
トピック	スペシャルアイテム 1
8	とけい (1)
9	3つのかずのけいさん
10	たしざん (2)
トピック	スペシャルアイテム 2
11	ひきざん (2)
トピック	じゆぎょうでわかる! ③
12	たすのかなひくのかな
13	ながさくらべ
トピック	じゆぎょうでわかる! ④
14	おおきなかず
15	たしざんとひきざん
トピック	じゆぎょうでわかる! ⑤
16	とけい (2)
17	なかまあつめ
トピック	じゆぎょうでわかる! ⑥
トピック	スペシャルアイテム 3
18	かさくらべ
19	ひろさくらべ

## 2年 目次 / CONTENTS

単元	内容
1	ひょうとグラフ
2	たし算 (1)
トピック	じゆぎょうでわかる! ①
3	ひき算 (1)
4	時こくと時間
5	1000までの数
トピック	じゆぎょうでわかる! ②
6	長さ (1)
7	たし算 (2)
トピック	スペシャルアイテム 1
8	ひき算 (2)
トピック	スペシャルアイテム 2
9	かさ
10	長さ (2)
11	かけ算 (1)
12	かけ算 (2)
13	かけ算 (3)
トピック	じゆぎょうでわかる! ③
14	かけ算 (4)
トピック	じゆぎょうでわかる! ④
15	かけ算 (5)
トピック	スペシャルアイテム 3
トピック	じゆぎょうでわかる! ⑤
16	三角形と四角形
17	長方形と正方形
トピック	じゆぎょうでわかる! ⑥
18	分数
トピック	じゆぎょうでわかる! ⑦
19	たし算とひき算
トピック	スペシャルアイテム 4
20	1000より大きい数
21	はこの形

### 導入

**① かけ算 1**

りんごは、みかんは、それぞれ、なんこ ありますか。

① りんごは、1さらに 3こ、2こ、4こ、3こ、はらばらです。3+2+4+3=12で、12こです。

② みかんは、1さらに 3こずつ のって、4さらふんで、12こです。

3×4の 積算は、3+3+3の 積算とおなじです。

3 × 4 = 12  
3 かける 4 は 12  
3こずつ 4さらふん のことを、3この 4ばいじともいいます。

れんしゅう しよう

① ぜんぶの いちごの 数を もとめる かけ算の しきを かきましょう。

① 137-92      ② 158-81  
③ 139-65      ④ 126-73  
⑤ 168-77      ⑥ 117-44  
⑦ 129-30      ⑧ 158-68

### 習得

**たしかなものにしよう**

① ぜんぶの 数を もとめる かけ算の しきを かきましょう。また、答えをもとめましょう。

② あめを 1人に 5こずつ くばります。3人に くばるには、あめは なんこ いらいますか。

③ 4cmの テープの ろばいの 長さは、なんcmですか。

④ いくつかの なんばいじ をみる ことができますか。

① 123-66      ② 152-78  
③ 117-39      ④ 170-83  
⑤ 136-98      ⑥ 165-86  
⑦ 112-64      ⑧ 145-58

### 活用

**かんがえる力をつけよう**

① ①の 数を もとめる かけ算の しきを どれですか。きこうで 答えましょう。

① 6×2=12    ② 3×4=12    ③ 2×6=12    ④ 4×4=16

② 12この あめを、おなじ 数ずつ ふくろに 入れます。ぜんぶの 数を あらわす かけ算の しきを かきましょう。

① 2こずつ 入れる    ② 3こずつ 入れる  
③ 4こずつ 入れる    ④ 6こずつ 入れる

① 111-82      ② 137-49      ③ 122-94  
④ 141-87      ⑤ 114-56      ⑥ 151-85  
⑦ 170-98      ⑧ 143-46      ⑨ 162-97  
⑩ 134-56      ⑪ 166-69      ⑫ 147-88

### 探究

**ちょうせん しよう**

① えを 見て 答えましょう。

① つぎの かけ算の しきで あらわされる ものは なんですか。  
① 2×4=8      ② 4×3=12      ③ 6×2=12

② つぎの 数を かけ算の しきに あらわしましょう。  
① ひきだしの 数      ② ケーキの 数

① 102-54      ② 105-96      ③ 103-39  
④ 101-79      ⑤ 106-18      ⑥ 101-42  
⑦ 100-19      ⑧ 104-47      ⑨ 103-29  
⑩ 105-38      ⑪ 106-27      ⑫ 104-56

① イラストや図を多用しました。

② 式の意味を考える問題を低学年から掲載。



3・4年 各128頁  
各970円(税込)

つまづきがちな単元も、段階的な問題構成でしっかりと学習できます。分数の単元では、テープ図や数直線を多用し、確実な理解を手助けしています。また、高学年で習う分数の計算や、通分の考え方につながる問題も掲載しました。



### 監修者からの声



#### 問題解決の力を

3年監修 山本 良和

各単元の問題は、習得→活用→探究という形で構成し、問題を解き進めていけば、学習指導要領で目指すべき算数の学び方を身につけられるように配慮しています。基礎・基本から活用問題まで、あらゆる問題解決の力を育てられるのが「アイテム」の大きな特徴です。



#### 振り返りと見通しを

4年監修 盛山 隆雄

1つの学習内容には、必ずそれを支える既習があります。「アイテム」においても、既習を振り返ることが容易にできるようになっています。活用のページでつまづいたら、その前のステップに戻ることができ、考えるヒントを得たり、解決の見通しを立てることができるようになりました。

### 3年 目次 / CONTENTS

単元	内容
1	かけ算
2	たし算とひき算
トピック	授業でわかる! ①
3	わり算
トピック	授業でわかる! ②
4	大きな数
5	かけ算のひっ算
トピック	スペシャルアイテム 1
トピック	授業でわかる! ③
6	小数
7	分数
8	円と球
トピック	スペシャルアイテム 2
9	三角形
トピック	授業でわかる! ④
トピック	スペシャルアイテム 3
10	長さ
11	重さ
12	時ごとと時間
13	表とぼうグラフ
トピック	授業でわかる! ⑤
14	□をつかった式
トピック	授業でわかる! ⑥
	活用問題 (1) (2) (3)

### 4年 目次 / CONTENTS

単元	内容
1	大きな数
2	整数のわり算
トピック	授業でわかる! ①
3	およその数
4	式と計算
トピック	授業でわかる! ②
トピック	スペシャルアイテム 1
5	小数のたし算とひき算
6	小数のかけ算とわり算
7	分数のたし算とひき算
トピック	授業でわかる! ③
8	角
9	垂直と平行
10	四角形
11	直方体と立方体
トピック	スペシャルアイテム 2
12	面積
トピック	授業でわかる! ④
トピック	スペシャルアイテム 3
トピック	授業でわかる! ⑤
13	折れ線グラフ
14	整理のしかた
15	かわり方
トピック	授業でわかる! ⑥
	活用問題 (1) (2)

#### 導入

12 分数

つぎの図で、お針をつけたぶんは長さは何センチですか。

① 1mを3等分した1こぶんの長さである。  
② 1mを5等分した1こぶんの長さである。  
③ 1mを5等分した3こぶんの長さである。これを $\frac{3}{5}$ mとあらわす。

つぎの図で、お針をつけたぶんは長さは何センチですか。

① 1mを3等分した1こぶんの長さである。  
② 1mを5等分した1こぶんの長さである。  
③ 1mを5等分した3こぶんの長さである。これを $\frac{3}{5}$ mとあらわす。

つぎの数直線の0～1にあってはまる数を書きなさい。

① 0.1 ② 0.2 ③ 0.3 ④ 0.4 ⑤ 0.5 ⑥ 0.6 ⑦ 0.7 ⑧ 0.8 ⑨ 0.9

この数直線は、小数と分数をあらわしている。1を10等分した1こぶんは、小数では0.1とあらわすが、分数であらわすと $\frac{1}{10}$ になる。

①は0.1の3こぶんだから0.3。②は0.1の7こぶんで0.7。③は $\frac{1}{10}$ の3こぶんだから $\frac{3}{10}$ 。④は $\frac{1}{10}$ の7こぶんで $\frac{7}{10}$ 。

① 0.3 ② 0.7 ③  $\frac{3}{10}$  ④  $\frac{7}{10}$

計算ドリル ① 46×2 ② 13×7 ③ 24×4 ④ 36×3 ⑤ 91×5 ⑥ 218×3 ⑦ 436×2 ⑧ 172×4 ⑨ 263×3 ⑩ 239×4

#### 習得

たし算をものにしよう

1 つぎののりかきテープの長さをもとに、下のテープを完成させなさい。

① 1mを3等分した1こぶんの長さである。  
② 1mを5等分した1こぶんの長さである。  
③ 1mを5等分した3こぶんの長さである。これを $\frac{3}{5}$ mとあらわす。

2 つぎの□にあてはまる数を書きなさい。

①  $\frac{1}{5}$ を3こぶんの数は、□です。  
②  $\frac{2}{5}$ は、 $\frac{1}{5}$ を□こぶんの数です。  
③  $\frac{1}{5}$ を□こぶんの数と、□になります。

3 つぎの数直線を見て、下のもんばに答えなさい。

① 0.1を分数であらわしなさい。 ②  $\frac{4}{10}$ を小数であらわしなさい。  
③ 0.8を分数であらわしなさい。 ④  $\frac{7}{10}$ を小数であらわしなさい。  
⑤ 0.3と $\frac{6}{10}$ の大きさをくらべて、大きいほうの数を書きなさい。

計算ドリル ① 37×14 ② 24×46 ③ 19×63 ④ 52×43 ⑤ 91×36 ⑥ 183×53 ⑦ 270×27 ⑧ 338×40 ⑨ 176×32 ⑩ 356×74

① 図を多用し、視覚的な理解を手助けしています。

#### 活用

活用する力をつけよう

1 つぎの数直線を見て、□にあてはまる分数を書きなさい。

①  $\frac{1}{10}$  ②  $\frac{2}{10}$  ③  $\frac{3}{10}$  ④  $\frac{4}{10}$  ⑤  $\frac{5}{10}$  ⑥  $\frac{6}{10}$  ⑦  $\frac{7}{10}$  ⑧  $\frac{8}{10}$  ⑨  $\frac{9}{10}$

2 つぎの□の中の数の大きさをくらべて、大きいほうの数を書きなさい。

①  $(\frac{3}{4}, \frac{2}{3})$  ②  $(\frac{3}{5}, \frac{4}{5})$  ③  $(\frac{1}{3}, \frac{2}{3})$  ④  $(\frac{1}{10}, 0)$  ⑤  $(\frac{1}{3}, \frac{2}{3})$  と考えよう。

①  $(0.6, \frac{5}{10})$  ②  $(\frac{9}{10}, 0.8)$

3 つぎののりかきテープの長さをもとに、分数と小数であらわしなさい。

① 1mを3等分した1こぶんの長さである。  
② 1mを5等分した1こぶんの長さである。  
③ 1mを5等分した3こぶんの長さである。これを $\frac{3}{5}$ mとあらわす。

計算ドリル ① 47×8 ② 173×5 ③ 29×96 ④ 327×29 ⑤ 67×4 ⑥ 379×2 ⑦ 44×67 ⑧ 418×53 ⑨ 39×8 ⑩ 608×9 ⑪ 85×95 ⑫ 560×39 ⑬ 54×9 ⑭ 345×6 ⑮ 39×59 ⑯ 701×43

#### 探究

Challenge チャレンジしよう

1 つぎのテープは1mより長いテープです。

① 1mを3等分した1こぶんの長さである。  
② 1mを5等分した1こぶんの長さである。  
③ 1mを5等分した3こぶんの長さである。これを $\frac{3}{5}$ mとあらわす。

2 つぎのテープの長さは、( )の長さの何ぶんですか。

① 1mを3等分した1こぶんの長さである。  
② 1mを5等分した1こぶんの長さである。  
③ 1mを5等分した3こぶんの長さである。これを $\frac{3}{5}$ mとあらわす。

3 下の数直線を見て、下のもんばに答えなさい。

① つぎの分数の大きさをくらべて、□にあてはまる不等号を書きなさい。  
 $\frac{1}{4}$  □  $\frac{3}{10}$  ②  $\frac{3}{4}$  □  $\frac{7}{8}$  ③  $\frac{5}{6}$  □  $\frac{7}{8}$   
④  $\frac{1}{4}$  □  $\frac{3}{10}$  ⑤  $\frac{3}{4}$  □  $\frac{7}{8}$  ⑥  $\frac{5}{6}$  □  $\frac{7}{8}$

② 右の□にあてはまる数を書きなさい。

$\frac{2}{4} = \frac{6}{8}$

計算ドリル ① 93×5 ② 490×4 ③ 76×48 ④ 362×87 ⑤ 54×9 ⑥ 208×7 ⑦ 96×80 ⑧ 843×45 ⑨ 85×6 ⑩ 598×8 ⑪ 87×68 ⑫ 702×56 ⑬ 79×8 ⑭ 926×9 ⑮ 39×64 ⑯ 464×69

② 高学年の準備問題。



① 基礎・基本の問題から、② 数学的な考え方を鍛える問題まで幅広く収録しました。図形の単元では、中学校で習う多角形の角の単元につながる問題を載せています。これまでに培った知識を活用する中で、新しい気づきを得られ、中学数学への入り口が開かれる問題集です。



5年 128頁 6年 136頁  
各 970円 (税込)

### 監修者からの声



#### 基礎・基本を活用して

5年監修 大野 桂

基本問題が解けたからといって、学習内容が理解できたということではありません。基礎基本を理解しているとは、むしろ応用問題や発展問題に取り組む際に、いかに基本問題で身につけたことを活用できるかということだと考えています。アイテムの発展問題に挑戦することで、確かな力を身につけて欲しいと思います。



#### 場面にあった式表現を

6年監修 田中 博史

6年生は、中学校の数学につながる準備をするという意味もある学年。数学嫌いが増えているこの時代、「考えることの楽しさ」を味わえる教科であることを今一度子どもたちに体験させてあげたい。そんな想いもこめて面白問題も沢山盛り込んで構成してみました。

### 5年 目次 / CONTENTS

単元	内容
1	整数と小数
2	倍数と約数
トピック	授業でわかる! ①
3	小数のかけ算
4	小数のわり算
トピック	スペシャルアイテム 1
5	分数のたし算とひき算
6	分数のかけ算とわり算
7	三角形と四角形
8	円と正多角形
トピック	授業でわかる! ②
9	合同な図形
トピック	スペシャルアイテム 2
10	角柱と円柱
11	面積
トピック	授業でわかる! ③
12	直方体と立方体
トピック	スペシャルアイテム 3
13	単位量あたりの大きさ
14	割合とグラフ
トピック	授業でわかる! ④
15	変わり方
トピック	スペシャルアイテム 4
	活用問題 (1) (2)

### 6年 目次 / CONTENTS

単元	内容
1	分数のかけ算
2	分数のわり算
トピック	授業でわかる! ①
3	いろいろな計算
トピック	スペシャルアイテム 1
4	対称な形
トピック	授業でわかる! ②
5	拡大図と縮図
6	いろいろな立体 (発展)
トピック	授業でわかる! ③
7	円の面積
8	角柱と円柱の体積
9	速さ
トピック	授業でわかる! ④
トピック	授業でわかる! ⑤
10	文字と式
11	比
トピック	授業でわかる! ⑥
12	比例と反比例
13	場合の数
トピック	スペシャルアイテム 2
14	資料の調べ方
	活用問題 (1) (2)

### 導入

**14 三角形と四角形の角**

△テーマ  
三角形の3つの角の大きさの和は180°だから、△の角は、 $180^\circ - 65^\circ - 45^\circ = 70^\circ$  (答え) 70°

練習しよう ① 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

△テーマ  
多角形の角の大きさ  
△の角の大きさを求めなさい。三角形、四角形、五角形、一辺のみの上り、連続して書かれた図形を、多角形に分類し、対角線をひくと2つの三角形に分けられるので、四角形の4つの角の大きさの和は360°になる。 $360^\circ - 125^\circ - 90^\circ - 85^\circ = 60^\circ$  (答え) 60°

練習しよう ② 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

計算ドリル  
① 431×70 ② 300×74  
③ 123×35 ④ 521×63  
⑤ 642×76 ⑥ 389×32  
⑦ 450×56 ⑧ 903×97  
⑨ 846×92 ⑩ 672×37

### 習得

**たしかめのにしよう**

① 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

② 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

③ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

④ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

⑤ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

⑥ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

⑦ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

⑧ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

⑨ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

⑩ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

計算ドリル  
わり切れないときは、整数の商を求め、あまりを出しなさい。  
① 841÷29 ② 913÷37  
③ 697÷76 ④ 455÷65  
⑤ 1875÷15 ⑥ 7090÷34  
⑦ 1950÷35 ⑧ 1702÷46  
⑨ 3807÷55 ⑩ 7613÷79

### 活用

**活用ある力をつけよう**

① 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

② 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

③ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

④ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

⑤ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

⑥ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

⑦ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

⑧ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

⑨ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

⑩ 次の図で、△の角の大きさを求めなさい。

計算ドリル  
わり切れないときは、整数の商を求め、あまりを出しなさい。  
① 300×700 ② 480×400 ③ 270×180 ④ 342×360  
⑤ 231×123 ⑥ 132×346 ⑦ 256×412 ⑧ 507×242  
⑨ 456×214 ⑩ 567×451 ⑪ 344×563 ⑫ 619×174  
⑬ 837×604 ⑭ 481×362 ⑮ 268×876 ⑯ 897×798

### 探究

**Challenge チャレンジしよう**

① 次の図は、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形、十角形の角の大きさの和を求めなさい。

② 次の図は、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形、十角形の角の大きさの和を求めなさい。

③ 次の図は、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形、十角形の角の大きさの和を求めなさい。

④ 次の図は、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形、十角形の角の大きさの和を求めなさい。

⑤ 次の図は、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形、十角形の角の大きさの和を求めなさい。

⑥ 次の図は、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形、十角形の角の大きさの和を求めなさい。

⑦ 次の図は、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形、十角形の角の大きさの和を求めなさい。

⑧ 次の図は、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形、十角形の角の大きさの和を求めなさい。

⑨ 次の図は、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形、十角形の角の大きさの和を求めなさい。

⑩ 次の図は、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形、十角形の角の大きさの和を求めなさい。

計算ドリル  
わり切れないときは、整数の商を求め、あまりを出しなさい。  
① 840÷210 ② 990÷114 ③ 758÷379 ④ 762÷175  
⑤ 668÷167 ⑥ 853÷246 ⑦ 5688÷158 ⑧ 6724÷236  
⑨ 9541÷524 ⑩ 5319÷197 ⑪ 2762÷365 ⑫ 2492÷623  
⑬ 3127÷490 ⑭ 4563÷707 ⑮ 6744÷843 ⑯ 6489÷927

① 基礎・基本の力を確実に習得できるようにしています。

② 高学年の探究では、中学へのステップとなる問題を掲載しています。

アイテムの3～6年では、学習領域ごと(「数と計算」「図形」「量と測定」「数量関係」)に各学年の内容が整理されています。ですから、単元のどこどこが、どうつながっていかを理解させるのに役立ちます。学習内容の系統性がわかりやすいということは、子どもたちにとって予習がしやすいということも意味します。特に、各単元の最初にあるテーマ(解説)では、学習内容の要点がうまく整理されているので、新たな学習内容でも、子ども自身で見通しを持って取り組むことができます。領域別であることは、学習したことを振り返るときにも有効な構成です。

筑波大学附属小学校・算数研究部

田中 博史  
(たなか・ひろし)



1958年、山口県生まれ。山口大学教育学部卒業。山口県公立小学校教諭を経て、現在、筑波大学附属小学校副校長。筑波大学非常勤講師。

全国算数授業研究会会長  
日本数学教育学会出版部幹事  
学校図書教科書「小学校算数」監修

「計算ドリル」と「チェックテスト」

「ドリルもきちんとやらせたい」「考える力をつけるための問題もしっかりとさせたい」「しかし、現場では予算が少なくとどちらも追うことは現場だ」。アイテムはこんな現場の先生方の声をくみ取り、その全てを盛り込んで作った欲張りな問題集です。全員にやらせたいドリルは書き込み式にし、問題数の確保と負担感の軽減の両方を実現しています。また、ペーパーテストの代用にもなるようにチェックテストも掲載。それも、単元途中でも使えるようにしています。このアイテムが全国の子どもの確かな力を育むことに役立つことを願っています。

山本 良和  
(やまもと・よしかず)



1963年、高知県生まれ。高知大学教育学部卒業。鳴門教育大学院修了。高知県公立小学校教諭、高知大学教育学部附属小学校教諭を経て、現在、筑波大学附属小学校教諭。國學院大学栃木短期大学講師。

全国算数授業研究会常任理事  
学校図書教科書「小学校算数」著者  
「算数授業研究」編集委員  
算数授業ICT研究会代表

「活用問題」で思考力を

学習指導要領のキーワードである「活用」。アイテムでは、各単元において習得・活用・探究を意識した紙面構成とするだけでなく、3年～6年では、巻末に「活用問題」の特集頁を設けています。既習の学習内容のうち、何の知識や技能を、あるいはどんな考え方をいれればよいかということを考えさせる問題です。中には、生活場面や他教科の内容に関する表やグラフから事象の傾向を読み取るような問題も用意しました。これらの問題を通して、諦めずに解決まで取り組もうとする態度、すなわち「活用しようとする態度」の育成も目指しています。

夏坂 哲志  
(なつさか・さとし)



1964年、青森県生まれ。東京学芸大学教育学部卒業。青森県公立小学校教諭を経て、現在、筑波大学附属小学校教諭。筑波大学非常勤講師、共愛学園前橋国際大学非常勤講師。

全国算数授業研究会常任理事  
日本数学教育学会研究部理事  
学校図書教科書「小学校算数」著者  
「算数授業研究」編集委員  
理数授業研究会代表

4つのステップを上手に活用

学んだことを様々な問題場面で活用することによって、より深い理解を得ることができます。また、他の学習内容と関連付けることによって、新しい知識や技能を獲得していくときに生きて働く力になります。アイテムは、①「練習しよう」(導入)、②「たしかなものにしよう」(習得)、③「活用する力をつけよう」(活用)、④「チャレンジしよう」(探究)の4つのステップで構成されています。③や④には少し難しい問題もありますが、子どもたちがこのような問題に挑戦してみることによって、学びがより豊かなものになっていくことを願っています。

盛山 隆雄  
(せいやま・たかお)



1971年、鳥取県生まれ。玉川大学文学部教育学科卒業。学習院初等科教諭を経て、現在筑波大学附属小学校教諭。横浜国立大学大学院数学教育専攻修了。

日本数学教育学会意識調査委員  
全国算数授業研究会常任理事  
「算数授業研究」編集委員  
教育出版教科書「小学算数」著者  
志の算数教育研究会代表

「授業でわかる!」で数学的活動を

アイテムには、子どもが「算数は楽しい」、「算数は面白い」と感じるような数学的活動のアイデアがつまっています。「授業でわかる!」のページでは、数学的活動に使える面白教材が具体的に紹介されています。授業展開の仕方もわかるので、実際の授業にそのまま生かすことができます。子どもが喜ぶだけでなく、先生も授業力をつけることができる内容なのです。子どもは本質的に活動性に富むものです。そうした子どもの本性に根ざす数学的活動を取り入れることによって、楽しい算数の授業を創造することが大切です。

中田 寿幸  
(なかた・としゆき)



1965年、東京都生まれ。千葉大学教育学部卒業。千葉県公立小学校教諭を経て、現在、筑波大学附属小学校教諭。

全国算数授業研究会常任理事  
算数授業ICT研究会理事  
日本数学教育学会研究部幹事  
「算数授業研究」編集委員  
学校図書教科書「小学校算数」著者

「ホームワーク」としても

アイテムの各ページには計算ドリルがついています。単元の初めの2ページは書き込みを可能にしたゆったりドリル。習い始めのときには、時間をかけて確実にマスターさせたいものです。単元の後半の2ページは、問題量を重視したきっちドリル。トータルでは市販の計算ドリルと同等に近い問題数を確保しました。ドリルには、家の形の「ホームワークマーク」をつけています。これは授業の中で取り組んでもいいですし、自主学習や家庭学習用としても活用できるように考えました。家でも学校でも、考える力から計算の力まで、アイテム1冊あれば算数の力がついていきます。

大野 桂  
(おの・けい)



1976年、東京都生まれ。東京学芸大学教育学部卒業。私立高等学校、東京都立中学校、東京学芸大学附属世田谷小学校教諭を経て、現在、筑波大学附属小学校教諭。

全国算数授業研究会常任理事  
日本数学教育学会幹事  
「算数授業研究」編集委員  
算数授業ICT研究会理事  
教育出版教科書「小学算数」著者

「知識・技能の定着」のために

アイテムでは、「知識・技能の確実な定着」のために、3つの特色を出しました。その1つ目は、「領域別単元配列」(3年～6年)です。学習の系統性や連続性を明らかにして、スパイラルな学びができるような構成となっています。基礎・基本を確実に押さえながら、学びの程度を少しずつ高められるような構成となっています。そして3つ目は、「ホームワーク」です。学習の振り返りを、家でもできるようにしています。「アイテム」が活用されることで、「知識・技能の確実な定着」に役に立つことを長っています。

森本 隆史  
(もりもと・たかし)



1975年、山口県生まれ。都留文科大学初等教育学科卒業。山口県公立小学校教諭、山口大学教育学部附属山口小学校教諭を経て、現在、筑波大学附属小学校教諭。

全国算数授業研究会常任理事  
「算数授業研究」編集委員

授業中での「item」

新学習指導要領が示され、「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められています。アイテムには、知識・技能の定着を図るドリルだけではなく、「考える力」を育むことができる問題がたくさん載っています。これらの問題を使って授業をすると、資質・能力の柱でもある「思考力・判断力・表現力」を育むことができます。特に、「チャレンジしよう」(探究)のページに載っている問題はお勧めです。子どもたちが考えたいもの、子どもたちが数学的な見方・考え方を働かせる場面が出てくるものが多く載っています。アイテムを使って授業をして、深い学びが実現されることを願っています。

## ① 家庭学習で、保護者と学校をつなぐ

慣習的に使っていたドリルがあったのですが、アイテムを採用することにしました。活用・探求の問題が充実している問題集を使ってみたかったのです。宿題に出すことが多いですが、授業中に問題演習の一環として取り組むこともあります。計算ドリルと習得のページまでは、全員が取り組めるよう、宿題に出したり授業で取り上げたりします。活用・探求のページは、自分の力を伸ばすために自主的に取り組みます。教科書に比べ、解説が充実しているところが子どもに評判です。家庭学習で取り組んだ問題は、保護者の方が「丸付け」をしてくださることもあり、保護者の方にとっても勉強になる、とのお声をいただいています。

(静岡県 S 小学校)

## ② 多くの場面で活用し、教員間で使い方の情報交換を

授業・T・T・少人数指導・長期休業の課題・校内の休み時間など、あらゆる場面で活用しています。授業の中で、活用・探究まで一通り教え、やりきれないところはT・Tや少人数指導などで対応します。解答は児童に渡さず、教員が採点をします。できていない箇所には付箋を貼り、その付箋も色分けするなど工夫を凝らしているつもりです。採点業務を通じて、先生たちがアイテムに関する情報交換を行うようになりました。算数が弱い学年も、『授業でわかる』『スペシャルアイテム』など筑波大附属小学校の先生方のエッセンスを参考にすることにより、意欲的に使えるようになりました。

(北海道 H 小学校)

## ③ 子どもたちが見たことのない問題に触れさせる

朝学習の「チャレンジタイム」という時間の中で全員がアイテムに取り組んでいます。計算問題を何度も繰り返し行いタイムを競うことよりも、もっと楽しいと思える問題、解けた時に「やった！」という達成感が持てるような問題をやって欲しいと思い、アイテムの導入を決めました。今まで子どもたちが見たことも触れたこともない問題があるのがアイテムのいいところですね。

(茨城県 A 小学校)

## ④ 少人数指導の題材として

4年生からの少人数指導の授業の中でアイテムを活用しています。基礎コースの子には初めの2ページ、習得の問題を中心にじっくり取り組みます。チャレンジコースの子は、自分から「活用しよう」の問題やチャレンジ問題に取り組むように言っています。図形が得意な子もいれば数量が得意な子もいますので、単元によって進むページに差が出てきます。ドリルもついているし、基本的な問題から挑戦するような問題まであるので、コースが変わったり学習単元が変わったりしても、1冊で補えるところがいいですね。

(東京都 H 小学校)

## ⑤ 「活用」の問題を学び合いの材料として

図形問題など書き込んだ方が解きやすい問題のほかは、ノートにやります。授業と宿題で、「確かなものにしてしよう」のページと計算ドリルまで全員が終わらせます。月に二回設けている「レベルアップタイム」では、「活用」のページに取り組めます。問題の解法がひらめいた子が隣の子に説明をしたり、協力してひとつの問題に取り組んだり、にぎやかな学び合いの場になっています。飛ばしてしまった問題には、学年の終わりに最初から通して取り組みます。当時は難しかった問題が出来るようになっていたので、1年間で付いた力を実感できます。また、最初から通して取り組むと、アイテムの4領域別の単元構成が活きてきます。

(静岡県 O 小学校)

## ⑥ 計算ドリルを便利に活用

使用して4年目になります。計算ドリルの部分を毎日の宿題にしています。授業と宿題両方で使用しています。確かに、活用や探求まですべての子どもが出来るわけではありません。しかし、たとえ習得のページまでしか出来なかったとしても、一般的な計算ドリルに比べ、はるかに問題量をこなせることには変わりありません。これからも使い続けていきたいと思えます。

(東京都 Y 小学校)

## ⑦ 昼休みの時間を活用して

全校で統一して、昼休みに設けている「スキルタイム」で使っています。「スキルタイム」では、進みの早い子が進みの遅い子の面倒を見てあげる様子も見られます。週4回各20分と限られた時間でありながら、大変活気のある昼休みを過ごしています。現在はテキストに直接書き込ませていますが、いずれはアイテム専用ノートを作り、間違ったところを確認できるようにしたいと思っています。ノートをきちんと完成させる意識を低学年のうちに持てるよう、教師が後押ししていきます。

(石川県 I 小学校)

## ⑧ 復習用にアイテムを

異動してこられた校長先生の推薦で今年度から導入しました。アイテムは基本的に復習用ドリルとして、単元学習が終わった後に授業の中や宿題として活用しています。今までずっと計算ドリルを使用していたので最初は戸惑いましたが、ドリルやテストで80点以上取ってしまう子にとって、アイテムにある問題は新鮮なですね。教師が予想した以上に楽しんで取り組んでいます。単元ごとに活用問題があるのがいいですね。

(茨城県 T 小学校)

## ⑨ 自学自習を中心に取り組む

週に1時間、「復習の時間」としてアイテムに取り組む時間を作っています。その時間は自主性に趣を置いているので、それぞれ自分がトライできる問題を解くようにしています。計算ドリルの部分は宿題以外にも夏休みや冬休みにも使っています。夏休みは、既習単元の「活用する力をつけよう」までをクラス全員に課題として出しました。「丸付け」は保護者の方にも協力いただいています。アイテムのいいところは、じっくりと復習ができることです。また塾などに通っている子にも「チャレンジしよう」は骨のある問題として効果があります。基礎基本から活用・応用問題までが1冊に入っているところがいいですね。

(東京都 M 小学校)

## ⑩ 算数コンテストと連動させて

子どもには予め出題範囲を指示しておいて、算数コンテストに向けてアイテムを毎日取り組みませます。どの子も90点を取れるまで何度もやり直しをさせます。そうすると子どもは本当に一生懸命になります。友達同士教え合うし、できなかったものは何回でもやり直すので、そのうちに分かる楽しさをみんなで共有するようになりました。授業以外の場面で学び合いも活発になりました。アイテムの問題は、市販のドリルとか、書店で売られている問題集の中にはなかなかないんです。本校の子どもたちは、普段から「アイテム」の活用問題に触れているので、問題を読んで多少分からなくても、習ったことを活用して解き進むという姿勢が育っていると思います。(群馬県 N 小学校)

## ⑪ 「テーマ」(導入の解説)を予習に活用

採択して、子どもの第一声は「難しい!」でした。子どもの戸惑いを軽減するには、教師側が取り組み方ある程度決めておく必要があります。近年、予習に力を入れ始めたので、単元の最初の「テーマ」をノートに写す宿題を出し、予習がわりに使っています。保護者の方からは、応用的な問題に取り組む機会を増やしてほしいとのご希望があるので、アイテムはとてもよい演習材料です。活用・探求の問題はできるだけ早くまでやればよいことにしています。また、解答を見て、それを青ペンでノートに写すのもよしとしています。

(大分県 S 小学校)

## ⑫ グループ学習の題材として

計算ドリルを使っていたのですが、応用問題まで網羅しているアイテムの存在を知り、中学数学への橋渡しとして、6年生で導入したのが始まりでした。最初の1年を通じ、児童の成績・やる気の向上が見られたため、全校に広めることを決めて現在に至っています。主な活用場面は授業・家庭学習。活用問題はグループ学習で取り上げています。児童間の協働作業において、積極的になっている児童を見て、意識の変わる教員も増えました。学校・児童・保護者が一つになって取り組んでいくのがアイテムという教材だと思えます。

(栃木県 J 小学校)

「アイテム」採択校様に充実した指導ツールをご用意しております!

「アイテム」算数 1年～6年に対応

**「i・tem プラス」** 基礎から活用まで、4種類のテストをアイテムの大単元ごとに用意しました。  
それぞれ50点満点のプリントとして使うこともできますが、組み合わせることで目的の難度の100点満点テストが出来上がります。

“書き込みで使った「アイテム」の確認用テストが欲しい!” “「アイテム」の活用問題をもっと徹底してやらせたい!” “学校の課題領域の対策をしたい!” 学校様からのご要望にお応えし、「アイテム」専用のワークシート(「itemプラス」)を「アイテム」活用支援ツールとして、本機構ホームページより提供させていただきます。「itemプラス」を併用することで、児童一人ひとりの習熟状況にも対応できる等、活用場面に広がりもてるようになります! 詳細はホームページにてご確認ください。

<b>A</b> 「確かな力」 50点満点・標準時間15分	<b>基本事項の確認テスト</b>	知識・理解、技能を検査します。「アイテム」の『導入～たしかなものにしよう』の問題と同じ問題か、題材は同じで数値が違う問題が出題されています。
<b>B</b> 「活用する力」 50点満点・標準時間15分	<b>応用事項の確認テスト</b>	数学的思考方を検査します。「アイテム」の『活用する力をつけよう』の問題と同じ問題か、題材は同じで数値が違う問題が出題されています。
<b>A+</b> 「確かな力プラス」 50点満点・標準時間15分	<b>基本事項の定着テスト</b>	知識・理解、技能の追加問題です。「アイテム」の『導入～たしかなものにしよう』に対応する問題です。
<b>B+</b> 「活用する力プラス」 50点満点・標準時間15分	<b>応用事項の実力テスト</b>	数学的思考方の追加問題です。「アイテム」の『活用する力をつけよう』に対応する内容ですが、異なる題材や、掲載されていないパターンも出題。実践的な活用力の検査に!

\*上記の他に、活用テスト(NPO 次世代教育推進機構編 100点満点)をご用意しております。2017年度は学力テストA、B併せて10回分のプリントを追加対応いたします。



**i・tem 算数** 1～6年 A4版  
1年…120頁  
2年～5年…128頁  
6年…136頁  
各970円(税込)

■■■ お願い 教材のお取扱いについて ■■■

- \*この教材は、学校及び教育機関に対する専用商品であり、個人への販売は致しておりません。
- また、書店等での一般販売も行っておりません。
- \*この教材を無断で複製することはこれを認めておりません。



**教育開発出版株式会社**

■■■ お問い合わせ、ご審査用見本のご請求は以下まで ■■■

**TEL 03-3304-5314 FAX 03-3304-5010**

○ホームページのご案内  
本機構HPでは、アイテムの活用事例をはじめ、「より良い教育環境を子どもたちに!」をテーマに学校への情報を発信しております。是非、お立ち寄りください。

<http://www.next-edu.or.jp>



特定非営利活動法人  
**次世代教育推進機構**  
for Education of Next Generation

〒168-0073  
東京都杉並区下高井戸1-39-19